

6月は雨の季節 防災・減災を意識して

しとしとした雨の日がつづく…。かつての、そんな「梅雨」のイメージ。でも、岡山市にも甚大な被害が及んだ平成30年7月豪雨をはじめ、近年、大災害につながる、激しい長時間降雨が珍しくありません。毎年6月は、「土砂災害防止月間」です。梅雨や台風の季節を前に、自分自身やご家族の身を守る防災について考えてみましょう。

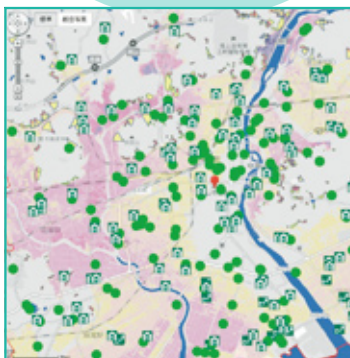


知る

知っていますか？

ハザードマップでわかる自分の住む地域のリスク。

まずはハザードマップであなたの暮らすエリアにどのような災害リスクがあるか確認しましょう。想定される災害の種類ごとに浸水範囲や浸水高(深さ)、避難場所などの必要な情報も記載されています。



洪水・土砂災害
ハザードマップ



高潮
ハザードマップ



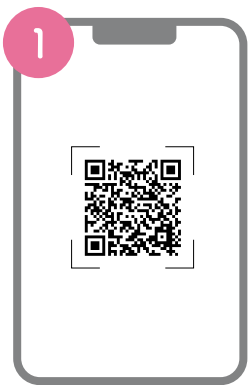
津波
ハザードマップ

岡山市WEB版
ハザードマップはこちら

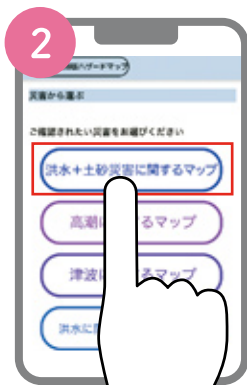


浸水(内水)
ハザードマップに
ついてはP7参照

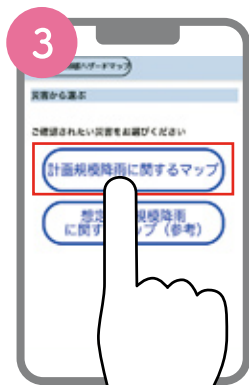
岡山市WEB版ハザードマップの閲覧の仕方(洪水・土砂災害の場合)



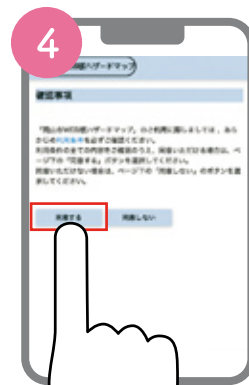
1 スマートフォンでQRコードを読み取る



2 見たいハザードマップをタップする



3 「計画規模降雨に関するマップ」をタップする



4 確認事項を読んで「同意する」をタップするとハザードマップが表示されます

スマートフォンの位置情報をオンにすると現地周辺のハザードマップを確認できます。

備え

備えていますか？

災害はいつ襲ってくるか分かりません。でも未然に被害を防いだり軽減したりすることは可能です。

日頃からテレビやラジオなどの気象情報などに意識を向け、大雨や台風が近づいているときには、刻々と変わるニュースなどにも注意するとともに、災害への備えをいま一度確認しましょう。

事前に話し合っておこう

自宅やその周辺の災害リスクを岡山市のハザードマップなどで確認。災害の恐れが高まった際にどう避難するかなど事前に話し合っておきましょう。

家中、家の外の備え

大雨や風が強くなる前に、側溝や排水口は掃除し、風で飛ばされそうな物は固定または屋内へ格納。非常用品や食品、飲料水や生活用水の用意も確認を。

土砂災害には特に早めの避難を

お住まいの地域が土砂災害警戒区域に入っている場合、早めの避難を心掛けてください。

災害にそなえるグッズあれこれ 非常持ち出し品を用意

イラストは一例です。



各家庭の状況にあった準備を

非常持ち出し品や非常備蓄品は一人一人必要な物が異なります。各家庭の実情に合わせたものを備えましょう。

乳幼児のいる家庭

- 粉ミルク ● ほ乳びん ● 離乳食 ● スプーン ● おむつ ● 清浄綿 ● おしりふき ● 抱っこひも ● パスタオルまたはベビー毛布 ● ガーゼなど

妊婦のいる家庭

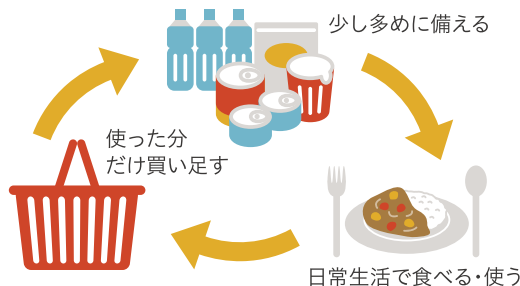
- 脱脂綿 ● ガーゼ ● さらし ● T字帯 ● 清浄綿 および新生児用品 ● ティッシュ ● ビニール風呂敷 ● 親子手帳など

要介護者のいる家庭

- おむつ ● 障害者手帳 ● 補助具の予備 ● 常備薬、おくすり手帳 ● 入れ歯、入れ歯洗浄剤 ● 緊急時の連絡先表など

ペットのいる家庭

- ペットフード、水 ● ペット用のトイレ ● リード、首輪 ● ケージ ● ワクチン証明書など



食料などの備蓄はローリングストックが効果的！

普段から少し多めに保存性のよい食材や加工食品を買い置き、日ごろから使った分だけ新しく買い足しておく。こうして、常に一定量の食料を家に備蓄しておくスタイルが、ローリングストック法。いざという時にも日常生活に近い食生活を送れるメリットもあります。

interview



▲「もし避難することになったら？を具体的に考えてみては」

被災地派遣経験者 加藤 恵一さん(人権推進課 課長)

いつ、どこにでも起こる災害。だからこそ、備えは万全に。

災害によって自宅で生活することが難しくなった場合、避難生活を送ることになります。市の避難所には、非常食糧や毛布をはじめ、緊急時を過ごすための最低限の用意がありますが、気をつけていただきたいこともあります。常用している薬や非常持ち出し品、動きやすい服装など、家族やご自身が数日間過ごせるよう準備をしっかりと整え、避難しましょう。私も熊本地震の災害応援などで経験しましたが、震災や広範囲な水害などの場合には中～長期の避難生活になる可能性もあります。非常食だけでは元気が出ない…、すぐに入浴できない…、そんなこともあるはず。日ごろから避難したときには、何が必要かなど話しあいましょう。

避難

もしものとき、避難できますか？

災害時にあわてず命を守る行動ができるよう、災害時にどう行動するか決めておきましょう。

急激な豪雨や長引く大雨が発生するとき、台風の接近などを想定し、避難のタイミングや災害時にとるべき行動を整理してみましょう。

新型コロナに感染しているときの避難は？

市開設の避難所には体調不良者スペースも用意しています。新型コロナに感染しても、一般の避難所に避難してください。



「避難」って何をすればいい？

岡山市から避難情報が発令された場合は速やかに避難してください。小・中学校や公民館などの避難場所以外にも安全な親戚・知人宅やホテル・旅館などに立ち退き避難したり、自宅が安全な場合は屋内安全確保をするなど、さまざまな避難行動があります。

※避難情報についてはP6へ

避難場所への移動

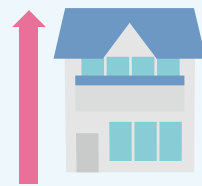
避難情報が出された地域にある、小・中学校、公民館（分館を除く）を原則、同時に開設します。

※ただし災害の種別によっては、開設しない施設があります。



屋内安全確保（垂直避難）

あらかじめハザードマップで安全を確認した上で、自宅の浸水しない上階の部屋に避難しましょう。



interview



▲「同時に起きる災害では、早め早めに安全確保を考えて」

岡山市消防局 特別高度救助隊 隊長 中村 望さん

大雨は予測ができる災害。浸水する前に避難を。

かつてない長時間降雨を記録した平成30年7月豪雨では「長年住みなれた場所での被害を想定できず、あっという間に水位が上がり、逃げられなかった」という人たちを、たくさん救助しました。浸水が広範囲に及び、同時に複数の救助要請があれば、私たち消防がすぐに行けない場合もあります。水位が低くても、見えない障害物が潜んでおり、出水地から歩いて脱出するには危険がともないます。おそろしい水害ですが、地震などと違い風水害は事前にある程度、予測可能です。台風や雨の予報には日ごろから注意して、情報を敏感にキャッチし、大雨が近づく前に早めの避難を心がけましょう。

施策

岡山市の施策を活用しよう

岡山市緊急告知ラジオの販売について

避難情報や地震、津波、弾道ミサイルなど市内全域に関係する緊急情報を受信し、電源を切っても自動で起動して、最大音量で放送するラジオです。FM79.0MHzのレディオモモを受信できる環境が必要です。一般価格9,000円、軽減価格2,000円(在庫が無くなり次第終了)。

軽減価格の条件は **全員が65歳以上の世帯** または **避難行動要支援者**



<お申し込み先>

各区役所総務・地域振興課

<お問い合わせ先>

岡山市役所危機管理室

電話:086-803-1082

自主防災組織の活動

自主防災組織とは、町内会単位などで地域の皆さんがともに協力して、自主的な防災活動を行う組織です。平時には、災害に備えた地域の体制づくりに取り組み、いざ災害が起こった時には、住民が力を合わせて避難誘導や避難所の運営などを行います。日頃から地域の自主防災活動に積極的に参加しましょう。



備蓄倉庫

市が開設する小・中学校などの避難所へは、分散備蓄として食糧など、直ちに必要な物資を配備しています。また、環境整備用品を中心に保管する集中備蓄倉庫は、北区と南区に整備が完了しました。今後、東区、中区へも順次整備を進めていきます。災害時には、この集中備蓄倉庫からも開設避難所へ必要な物資を配送します。



雨水ポンプ場の整備状況

岡山市では平成23年の台風12号(24時間降雨で過去最大を記録)により、大規模な浸水被害が発生した地区などを中心に、下水道の整備による浸水対策をすすめています。笹ヶ瀬川左岸側では、ポンプ場や雨水きよの整備などもあり、48時間降雨で過去最大を記録した平成30年7月豪雨では、大きな浸水被害は確認されませんでした。被害の大きかった右岸側の今保地区においても、今保・白石2カ所の雨水ポンプ場の整備を進めており、今年の出水期に排水を開始します。

「わかるかわる岡山市」はこちら

こちらの動画でも紹介します

6月中旬公開予定



岡山市防災イベント

まなぼうさい

「おかやま学BOSAI 2023」

～平成30年7月豪雨から5年 災害の記憶を明日の備えに～

開催日時 令和5年7月2日(日)10:00～17:00

開催場所 イオンモール岡山1階未来スクエア

豪雨から5年。改めて当時の記憶を振り返り、防災について触れ、学び、体験する企画などを通して防災意識の向上を目指します。あなたと大切なご家族と、ご近所や地域の皆さんと…災害への備えを考えましょう。



WEB版ハザードマップ操作体験・AR浸水疑似体験コーナー・子ども向け防災ゲームなど家族で体験できる企画がいっぱい!

災害が起きたときの避難のタイミング(水害、土砂災害)

市民の皆さんが災害発生の危険に応じてとるべき行動を直感的に理解できるように、防災情報を5段階の警戒レベルで提供しています。警戒レベル4までに必ず避難をしてください。

警戒レベル5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！すでに災害が発生または切迫していて、安全な避難ができず命の危険がある状況です。いのちを守る最善の行動をとってください。※市が災害の状況を確実に把握できるものではないため、必ず発令されるものではありません。
警戒レベル4	避難指示	危険な場所から全員避難してください。避難所に各自必要なもの(水・食糧など)をできるだけ持参してください。※令和3年5月から「避難勧告」は廃止されました。
警戒レベル3	高齢者等避難	危険な場所から高齢者や避難に時間がかかる人は、避難を開始してください。その他の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、危険を感じたら自発的に避難してください。
警戒レベル2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁発表)	ハザードマップなどで自宅の災害リスク、避難場所や避難経路、避難のタイミングなどを再確認し、避難に備え自らの避難行動を確認してください。
警戒レベル1	早期注意情報 (気象庁発表)	最新の気象情報に注意し、災害への心構えを高めてください。

災害が起きたときの情報の取得方法

テレビ

市から発信する「避難情報」や「避難所の情報」などを見ることができます。

利用方法

NHK総合にチャンネルを合わせ、デジタルテレビのリモコン「dボタン」を押してください。

「おかやま防災ポータル」の情報

NHK総合岡山1

【防災・生活情報】



ラジオ

停電時やインターネットが繋がりにくい場合、最も情報を得やすいのがラジオです。

緊急速報メール(エリアメール)

対応する携帯電話やスマートフォンへ、特定エリアごとに直接、緊急地震速報や災害・避難情報などを一斉配信します。

スマートフォン・インターネットなど

▶岡山市メール配信サービス(岡山市防災メール)

避難情報・気象情報などを配信しています。日本語のほか12か国語に対応しています。



(日本語版)

登録方法

- ① QRコードから空メール送信
- ② 返信された登録用メールの案内に従って配信希望項目を返信



▶公式LINE



▶Facebook

桃太郎のまち

検索

▶Twitter



最新の
防災情報が
手に入る

▶岡山市WEB版ハザードマップ(P2参照)からも避難所の開設状況などを確認できます。

浸水(内水)氾濫にもご注意を！ ～ハザードマップを公表しています～



問 下水道河川計画課 ☎086-803-1499

平成30年7月豪雨では、河川に排水しきれなくなった雨水が溢れだす「内水氾濫（ないすいはんらん）」により、市内各地で浸水被害が発生しました。

この内水氾濫による浸水が想定される地域の「浸水（内水）ハザードマップ」について、HPでの公開と窓口での配布を行っています。また、HPの地図情報システム（GIS）で周辺情報を確認できます。

※本マップは、旭川など河川堤防が決壊した場合を想定した「洪水ハザードマップ」とは異なります。



もし、家屋が浸水したら…

問 保健管理課 ☎086-803-1276

感染症予防のため、**清掃と乾燥**が最も重要です。なお**床下や庭など屋外の消毒は原則不要**です。まずは、土砂などを取り除いた後、水道水で洗い流し、しっかり乾かしてください。詳細はHPをご確認ください。



地震への備えもお忘れなく！

大地震が起きたら、日常生活にも大きな影響が予想されます。今後30年以内に、70～80%の確率で「南海トラフ地震※1」が発生すると言われていています。「南海トラフ地震」が発生した場合、市内では最大震度6強、最大の津波の高さは2.6mと想定されています。地震が起きたときにも、どうやって身を守るか日ごろから考えておきましょう。

※1 南海トラフ地震とは・・・駿河湾から日向灘沖までの海底にある「南海トラフ」を震源とする、東海地震・南海地震・東南海地震の3つが同時に起こる大規模な地震のこと

地震発生時の行動 (家庭の場合)

緊急地震速報発表

- テレビやラジオなどで放送されるほか、携帯電話・スマートフォンなどに発信されます。



1 頭を守り、安全確保

- フッшонやバッグなど、身近にあるもので頭を守る。
- 机の下などにもぐり、机の足を持つ。
- あわてて外に飛び出さない。

身近なもので頭を守り、揺れが収まるのを待ちましょう。



5 避難する

- 非常持ち出し品を持って指定の避難所へ移動する。
- 外へ出る際には落下物に注意する。
- 車は使用しない。
- 落ち着いて、忘れ物がないように注意する。
- 戸締まりをしっかりと行う。



2 逃げ道を確保する

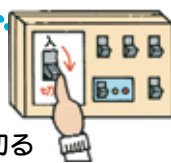
- 揺れが収まったら、ドアや窓を開けて、すぐ逃げられるように逃げ道を確保する。
- ガラスの破片等が落ちているので、靴やスリッパを履いて移動する。

避難する際の注意点

- 震源、津波注意報・警報を確認する。
- 津波警報発表中は高台に避難し、絶対に低地に戻らない。

4 電気のブレーカーを切る

- 漏電などによる火災を防ぐ。
- ※感震ブレーカーを設置しておけば、揺れを感知して自動的にブレーカーが切れる。



3 火を止める

- 火を使用中なら、火を消しガスの元栓を閉める。（無理して火を消そうとしない。揺れが収まってから火を消す。）
- 出火していたら、初期消火を行う。



エレベーターの場合

- 全ての階のボタンを押して最初に止まった階で降りましょう。
- 閉じ込められたら専用のインターフォンで連絡しましょう。

市街地の場合

- 窓ガラスや看板などの落下物に気をつけましょう。
- カバンなどで頭を守りながら、安全な場所に移動しましょう。



水害や地震など災害の種類によって避難時の行動や避難場所が変わります。詳細は岡山市防災マニュアルやハザードマップをご確認ください。防災・減災のためには、あらゆる災害に備えておくことが大切です。